

東武鉄道における 高架化工事他の現状

とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業
竹ノ塚駅付近連続立体交差事業
清水公園～梅郷間連続立体交差事業
六実～逆井間複線化工事

Vol.8

とうきょうスカイツリー駅付近連続立体交差事業については、平成36年度末の完成に向け、いよいよ工事に着手いたします。本事業では、とうきょうスカイツリー駅から曳舟駅に至るまでの線路を高架化し、踏切を1箇所除却いたします。

東武スカイツリーライン竹ノ塚駅付近連続立体交差事業では、駅部において下り緩行線の高架橋新設工事を推進しています。

また、東武アーバンパークライン清水公園～梅郷間連続立体交差事業では、野田市駅において1月19日(金)より仮駅舎の使用を開始しました。愛宕駅周辺においては3月17日(土)(予定)の終列車後に線路切替を行います。これに伴い、翌18日(日)(予定)の初列車から新たに線路東側の仮駅舎を使用開始します。

これらの連続立体交差事業は、それぞれ墨田区や足立区、千葉県が施行する都市計画事業であり、東武鉄道はこれに協力して工事を推進していきます。

さらに、東武アーバンパークライン六実～逆井間では平成31年度末の完成に向け、複線化工事を進めています。

いずれの工事も、ご利用になるお客様、沿線にお住いの皆様には何かとご不便、ご迷惑をお掛けしますが、安全最優先で早期完成を目指しておりますので、何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

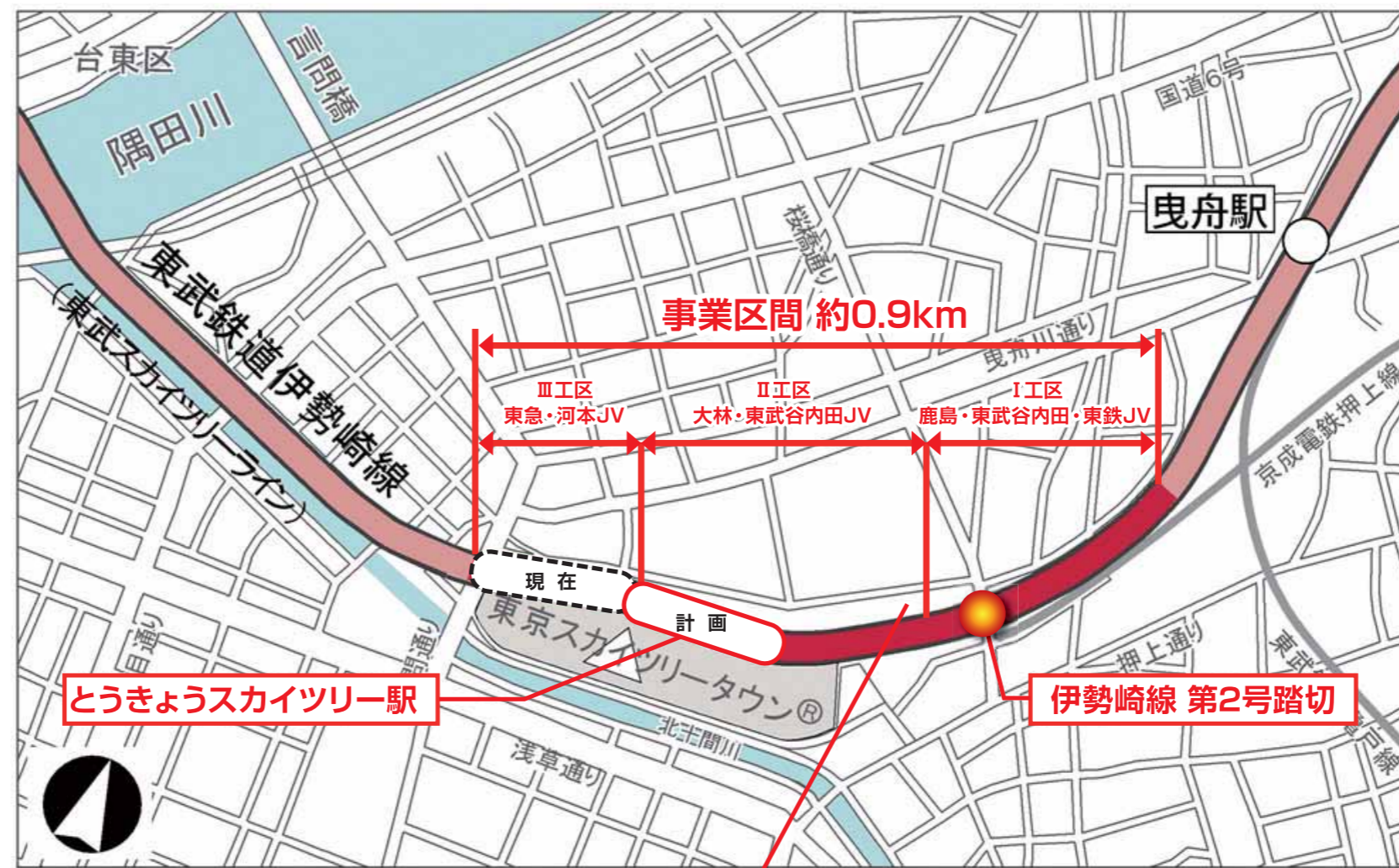


とうきょうスカイツリー駅付近 連続立体交差事業

いよいよ工事に着手いたします!

本事業は、東武鉄道伊勢崎線(東武スカイツリーライン)とうきょうスカイツリー駅付近の約0.9kmの区間について鉄道を高架化するものです。これにより桜橋通りにある伊勢崎線第2号踏切を除却し、道路と鉄道それぞれの安全性向上、交通流動のボトルネック解消を図ります。

また、鉄道と交差する都市計画道路等をあわせて整備することにより、これまで鉄道により隔てられていた南北の市街地の行き来が容易になるなど、まちが一体化され、安全性、快適性が向上します。



『事業の概要』

区間：とうきょうスカイツリー駅付近
(墨田区押上二丁目～
墨田区向島一丁目)

延長：約0.9km

駅施設：とうきょうスカイツリー駅
・ホーム延長 約170～210m
・ホーム幅員 約2～8m
駅のホームを東側に移設

構造形式：高架式(嵩上式)



～当面の工事予定～
主に留置線の一部移設・撤去、支障物の移設・撤去を行うほかⅠ工区において地下躯体の補強を行う予定です。



現在

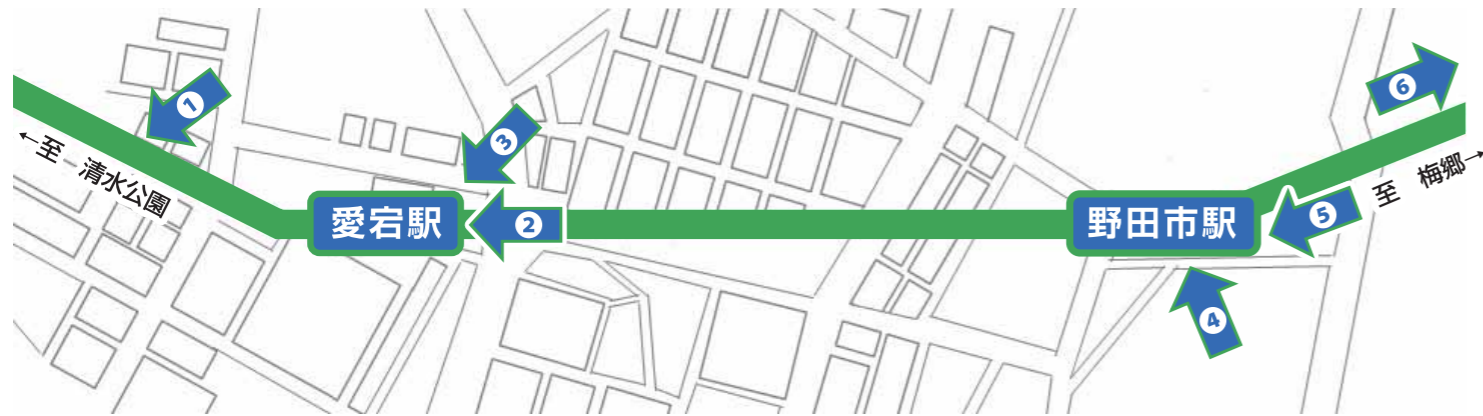
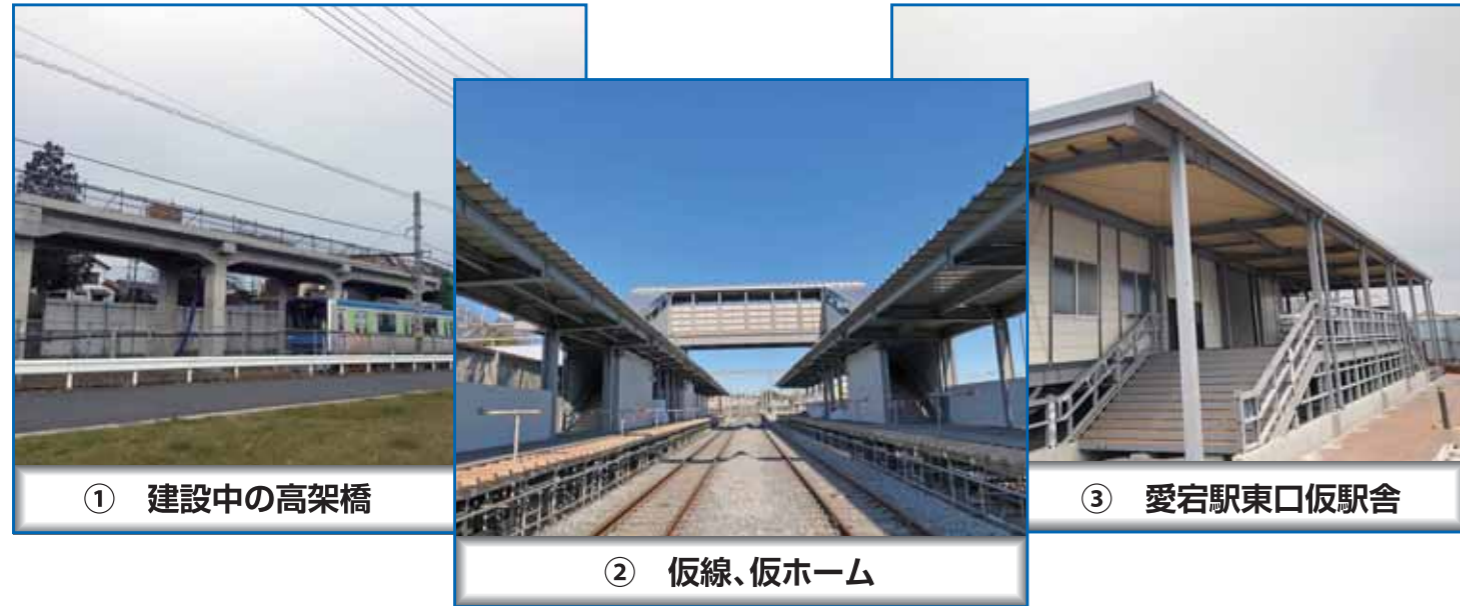


高架後のイメージ

清水公園～梅郷間 連続立体交差事業の進捗状況

愛宕駅周辺では、3月18日(日)(予定)の東口仮駅使用開始に向けて、工事は最終段階に入っており仮駅舎の内装工事や軌道工事、電気関係工事等を進めています。

野田市駅周辺では今後、旧駅舎や各施設の撤去工事を進めた後、本格的に高架橋工事を進めていきます。また、そのほかの箇所では引き続き、高架橋工事を進めています。



六実～逆井間 複線化工事の進捗状況

高柳駅では、柏市のご支援をいただき、駅舎橋上化工事を実施しており、2月20日(火)11時(予定)より自由通路の使用を開始します。あわせて、同駅構内の第264号踏切道を廃止します。

また、3月1日(木)(予定)初列車より新設した上りホームの使用を開始します。



竹ノ塚駅付近 連続立体交差事業の進捗状況

昨年8月26日(土)の終列車後に下り緩行線の線路切替および地下駅舎を使用開始し、その後、橋上駅舎の撤去および旧下り緩行線のあったスペースに高架橋を新設しています。また、駅北側において高架橋を新設するスペースを確保するために、引上げ線を移設する工事を本年3月に行う予定です。

